

第 2 期公立大学法人福知山公立大学中期目標策定について

令和 3 年 5 月 1 7 日
市長公室大学政策課

1 第 1 期中期目標期間の評価

評価委員会は中期目標評価（4 年終了時）を「中期目標の達成に向け概ね順調に進捗している」と評価。
（取り組みの例）

- ・公立大学による教育研究体制の刷新
- ・大学認証評価の適合判定
- ・全国からの入学者獲得、就職先確保
- ・情報学部新設と入学定員 2 0 0 名の実現
- ・「まちかどキャンパス」をはじめ市民に見える大学づくりの進展 など

（次期への課題）

- ・地域協働型教育研究の成果の具現化と地域への還元（情報学大学院、コンソーシアム）
- ・地域経営学部の強化、教職員体制・キャンパス充実、修学支援の充実など

2 有識者会議の提言と将来計画を踏まえた次期中期目標の骨格

（メインテーマ）地域と大学がともに発展する「福知山モデル」の創出（有識者会議提言書より）

福知山モデル（有識者会議提言書 抜粋）

持続可能な地域社会の創出というミッションを福知山市と福知山公立大学で共有し・・・（中略）・・・、
地域と福知山公立大学の発展を一体のものとして大胆な地域創生施策に取り組み、地域にイノベーションと新たな価値を生み出す「福知山モデル」ともいえる福知山公立大学と地域との関係性の構築につながることを望みたい。

（福知山モデル具現化にむけた大学の教育研究活動との協働の例）

産業振興

- (1) 北近畿地域の産業イノベーションの創出や専門人材の育成
- (2) 従来の「ものづくり産業」に加え、新たな「稼ぐ産業」（IT 産業等）の創造（スタートアップ支援等）
- (3) 内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」等の大規模プロジェクトを視野に産官学連携コンソーシアムを構築

人材育成

- (1) 福知山での学びを通じて北近畿地域の発展を牽引できる学生の育成
- (2) 人生 100 年時代を主体的に生き抜く人材育成支援
（シニアワークカレッジをはじめ多世代に向けた多様なリカレント教育、小中高大連携の推進など）

地域政策

- (1) 若者の流出抑制と全国からの流入による人口維持・経済効果の発揮
- (2) 地域防災、医療福祉、農山村振興、都市政策、スマートシティなどウィズコロナ社会構築への提言
- (3) 大学がハブとなつての北近畿全域の多様なステークホルダーとの高度な連携の実現

（目標改訂にあたっての留意事項）

- ・現行中期目標は抽象的・観念的な記述が多く同一事項を複数分野で重複するなどの課題あることから、項目を簡潔明瞭に表現した。また項目建てを大学認証評価の基準に従った。

3 今後のスケジュール

- | | |
|-----------|--|
| 2 月 4 日 | 福知山公立大学将来計画策定有識者会議提言書 提出 |
| 3 月 2 5 日 | 福知山公立大学将来計画 策定
本市と大学で中期目標、中期計画の原案協議 |
| 5 月 1 7 日 | 第 1 回評価委員会（中期目標審議） |
| 6 月 中旬 | 法人への意見聴取 |
| 7 月～8 月 | 評価委員会（年度実績評価と同時進行で中期目標審議） |
| 9 月 | 中期目標 市議会提案、議決 |
| 1 1 月 | 法人中期計画策定（理事会→評価委員会の意見聴取→認可） |
| 3 月 | 法人年度計画策定（理事会→届出） |